

MERRY AROUND THE WORLD

最終回 H 2万人の Merry E

笑顔のポートレートを通じて世界にMerryを循環させるMerry Project。ついに参加人数は2万人を超えた。今回は、これまでのMerryを振り返りつつ、これからの抱負などを主催者である水谷孝次氏に聞いた。

写真 水谷孝次 構成 編集部

「**もっとも印象的だった人はいませんか。**」
水谷 僕が通りすがりの人にMerryを頼むかどうかのポイントは、笑顔が輝いているかどうかなんですけれども、最

「**2万人の笑顔を集められましたけれども、この次の目標はありますか。**」
水谷 2万人の笑顔はWebの中のアーカイブで見ることが出来ます。ここしばらくは日本でやっています。子どももまた世界へMerryを振り回したいですね。具体的な予定はまだ何も決まっていますが、人が生き生きしているような場所、たとえばペルーのリマやネパールに行きたい。「生きることは美しく、つらいから甘美である」。かのロバート・メイブルソープの言葉ですが、僕もMerryをやってきて、まったく同じことを感じています。

（水谷孝次氏の談話を基に構成）

水谷孝次（みずたにこうじ）

<http://www.merryproject.com/> (4/20リニューアルオープン!) <http://www.remus.dti.ne.jp/~mizutani/>

アートディレクター。1999年より笑顔を撮影したポスターの展示やボランティアによるごみ拾いなどを通じて、世界に「Merry（楽しいこと、幸せなときなど）」の輪を広げていく「Merry Project」を開始。2005年、愛・地球博にて「Merry EXPO」開催。2006年、愛・地球博の会場が使われた使用済みダンボールをリユースした装丁による、同博覧会展示作品の集大成「MERRY EXPO BOOK」を出版。これらの活動に対して2006年桑沢デザイン・オブ・ザ・イヤー賞受賞。2006年グッドデザイン賞、第1回エコ・アート大賞、エコ・コミュニケーション賞受賞。

MERRY WEB SITE 4/20 RENEWAL OPEN! 3つのMERRYな新コンテンツが登場!

- 1: MERRY ARCHIVES (これまで撮影した世界中の笑顔が見れます)
- 2: YOUR MERRY MESSAGE (世界地図にあなただけのMERRYを投稿してください)
- 3: MERRY NEWS (メリーなニュース、話題を伝えるニュースブログが誕生!)

そして笑顔はつながっていく

近ほどどの国でも女の子たちが輝いているという印象が強いですね。Merryで多くの国を巡りましたけれど、アフリカとかキューバとか厳しい場所であると思われがちな場所ほどいいMerryに出会えましたね。

